

令和 7 年度第78回北海道高等学校ボクシング競技選手権大会
兼第79回全国高等学校総合体育大会ボクシング競技北海道予選会
開 催 要 項

主 催 北海道高等学校体育連盟、北海道教育委員会、北海道ボクシング連盟
後 援 朝日新聞北海道支社、北海道新聞社
主 管 北海道高等学校体育連盟ボクシング専門部
北海道高等学校体育連盟札幌支部
当 番 校 北海道高等学校体育連盟ボクシング専門部
北海道札幌工業高等学校 内
〒060-0820 札幌市北区北20条西13丁目 Tel 011-727-3342 Fax 011-727-3344

- 1 期 日 令和 7 年 6 月 3 日（火）～ 6 日（金）
- 3 日（火） 9:00 R J セミナー
10:00 スポーツエントリーチェック
11:00 監督会議及び組合せ抽選
13:00 健診・計量(出場選手のみ)
14:00 ボクシング専門部会
16:00 開会式
16:15 競技開始(予定)
- 4 日（水） 8:50 受付 9:00 健診・計量(出場選手のみ) 12:00 競技開始
5 日（木） 8:50 受付 9:00 健診・計量(出場選手のみ) 12:00 競技開始
6 日（金） 8:50 受付 9:00 健診・計量(出場選手のみ) 12:00 競技開始 14:30 閉会式予定

インテグリティ研修はgoogleフォームを利用して行います。
チーフセカンドの申込された方へ申込締切日後に専用URLを個別に送信いたします。

- 2 会 場 札幌市北区体育館
〒001-0908 札幌市北区新琴似 8 条 2 丁目 1 番 25 号 Tel 011-763-1522 Fax 011-763-1523
- 3 競技階級 男子：ピン級よりミドル級までの 8 階級（P 級44～46kg、LF 級46～49kg、F 級49～52kg、B 級52～56kg
L 級56～60kg、LW 級60～64kg、W 級64～69kg、M 級69～75kg）
女子：ライトフライ級(45～48kg)、バンタム級(51～54kg)、ライト級(57～60kg)の 3 階級
- 4 競技規則 (1) 公益社団法人日本ボクシング連盟（以下、日連）競技規則を適用する。
(2) 選手は、日連が認める場合を除いて、自分が通学する学校以外の学校名、社名、商標、社章等が記載されたユニフォームを着用してはならない。
(3) 大会には、学校対抗の選手として参加を許可するものであり、ユニフォーム等は所属校が認めるものを着用しなければならない。
- 5 競技方法 (1) 個人選手権とするが、学校対抗も兼ねる。また、女子に関しては学校対抗に入れない。
(2) 3 ラウンド（1 ラウンド 2 分）
(3) トーナメント方式で行い、優勝・準優勝・3 位（2 名）を決定する。3 位決定戦は行わない。
- 6 引率責任者及び監督 (1) 引率責任者は校長の認める学校の教諭とする。また、監督は校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育法施行規則第78条の2に示された者）も可とする。
(2) 監督・コーチは校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は、傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。
(3) 出場する選手は必ず引率責任者によって引率される。引率責任者は、選手のすべての行動に対して責任を負うものとする。
- 7 参加資格 (1) 選手は、学校教育法第 1 条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。ただし、休学中、留学中の生徒は除く。
(2) 選手は、北海道高等学校体育連盟に加盟している生徒で、当該競技事項により参加資格を得た者であること。
(3) 年齢は、平成18年(2006年) 4 月 2 日以降に生まれたものとする（4 月 2 日を起算として19才未満）。
但し、出場は同一競技 3 回までとし、同一学年での出場は 1 回限りとする。（「出場」とは登録やエントリーではなく、試合への出場回数をさし、専門部が責任を持って調整・確認する。）
(4) チーム編成において、全日制課程・定時制課程・通信課程の生徒による混成は認めない。
(5) 複数校合同チームの大会参加は認めない。但し、統廃合の対象となる学校については、統廃合完了前の 2 年間に限り合同チームによる大会参加を認める。

- (6) 転校・転籍後6ヶ月未満のものは参加を認めない(外国留学生もこれに準ずる)。但し、一家転住などやむを得ない場合は、北海道高等学校体育連盟支部長の許可があればこの限りではない。
- (7) 出場する選手は、本年度の総合健康診断を受け、在学する学校の校長の承認を必要とする。総合健診については、選手手帳の本年度分「健康診断記録」に必要事項が記載され、捺印がされていること。
- (8) 申込み日までに日連へ令和7年度の登録済み生徒であること。(未登録者は申込みを受け付けない)その他、CT及びMRI(初回健診)を受診し、且つ節目及び年次の総合健診を受けている者とする。また、参加申込書には必ず登録番号を記入すること。
- (9) 選手は、選手手帳の携帯を必要とする。不携帯の場合は出場させない。なお、競技会場において、選手手帳を忘れた生徒には新たな更新を行わない。よって、選手手帳不備のものは事前に準備すること。
 ア 選手手帳は、決勝まで勝ち進むとして、記入できる決勝までの日数分あること(コピー不可)。途中で記録欄がなくなった場合は失格とする。大会ごとに新しいページにする必要はありません。
 イ 選手手帳を更新した場合、前の手帳も持参すること。持参しない場合は失格とする。
 ウ 選手手帳には必ず写真を貼付すること。写真がない場合は失格とする。
- (10) 初登録選手は、実練習期間が6ヶ月を経過し、指導者が出場可能と認めた場合、本大会に出場することができる。その際、選手手帳P.14「実践競技参加証明」に必要事項を記載済みであること。
- (11) 主催大会参加者災害補償制度に加入していること。
- (12) 大会参加までに全国高等学校体育連盟ボクシング専門部に加盟していること。(なお、詳しい申込み方法は、全国高等学校体育連盟ボクシング専門部のHP;<http://www.koukou-boxing.com/>を参照のこと)
- (13) 本大会に出場する選手は、いかなる理由も選手変更は認められない。
- (14) 参加資格の特例
 ア 上記(1)(2)に定める生徒以外で、当該競技実施要項により大会参加を満たすと判断され、北海道高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
 イ 上記(3)のただし書きについては、学年の区別を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回までとする。なお、高等専門学校については、第3学年までの19歳未満の者に限る。

【大会参加資格の別途規定】

- 1 学校教育法72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、北海道高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
 - (1) 大会参加を認める条件
 ア 北海道高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 イ 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、広域通信制連携校の生徒による混成は認めない。
 ウ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任のある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失することなく、運営が適切であること。
 - (2) 大会参加に際して守るべき条件
 ア 北海道高等学校体育連盟基準要項を厳守し、競技種目別大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 イ 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害・賠償責任保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
 ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

8 参加制限

- (1) 学校ごとの参加制限は設けないが、階級ごとに順位を付けること。日程内に競技が終了しない組合せとなる場合、専門部で協議の上、順位の低い選手の参加を制限することがある。制限をする選手については、申込締め切り後、速やかに専門部より当該校に連絡する。
- (2) 外国人留学生の参加については、「各学校の実エントリー数の20%」までとする。
- (3) 各学校チームは、監督1名、コーチ1名、セカンド、選手・引率責任者1名で構成する。監督、コーチ、セカンドは日連登録者に限る。
- (4) セカンド
 ア 日連「公認セカンド制度」に関する規定に準ずる。
 イ 日連に今年度登録済で、セカンド資格の有取得者であること。
 ウ あらかじめ提示された「セカンド届」等により、事前に申請した者であること。
 エ 今大会のチーフセカンドは日連公認のB級以上のセカンド資格を有する者であること。
 オ チーフセカンドは他校の選手のセカンドを行う場合は、その選手との指導実績が客観的に証明され、大会長の許可を得なければ務めることはできない。
 カ 大会本部役員、NTO・審判大会役員、出場選手は原則として当該大会のセカンドはできない。但し、大会長等が諸事情を勘案許可した場合はその限りではない。

キ イに加えて、日連登録者は、アシスタントセカンドとして、セカンドの補助（椅子出し入れ・うがい補助・マウスガード洗浄等）をセカンドエリア内にて行うことができる。但し、競技者の安全に関わる緊急の場合を除き、リング内に立ち入ることはできない。
ク チーフセカンドは、日連が実施する「インテグリティ研修」に参加したものに限る。

- 9 参加申込 (1) 所定の様式「参加申込書」（男女共用）及び「セカンド届申込書」を作成すること。
(2) 「参加申込書」は、引率責任者を明記し、所属学校長印を押印(朱印)したものを原本として作成する。なお、「参加申込書」は、PDF、電子公印によるメールでの提出を可とする。また、その際、カラー、白黒は問わない。
(3) 下記申込先に「参加申込書」の原本を郵送、又は「参加申込書」の原本のPDFを電子メールにて送信するとともに、「参加申込書」及び「セカンド届申込書」のデータを電子メールにて送信する。（FAXでの申し込みは受け付けない。）
- (4) 申込先
〒060-0820 札幌市北区北20条西13丁目
北海道札幌工業高等学校 内
北海道高等学校体育連盟ボクシング専門部
Tel 011-727-3342 FAX 011-727-3344
e-mail sugawara24@hokkaido-c.ed.jp
- (5) 申込締切
令和7年5月16日（金）正午必着（申込み後のエントリーおよび階級の変更は、一切認めない）
- 10 参加料 (1) 1名 1,500円
(2) 納入方法
ア 参加料は参加申込と同時に各金融機関の依頼書又はATM等を用いて、下記の口座に振り込むこと。なお、振込手数料は申込者の負担とする。
イ 振込先 指定銀行：北海道銀行 北二十四条 支店
口座番号：普通 店番号163 口座番号1526291
ホッカイドウサツポロコウギョウコウトウガッコウ コウタイレン ボクシング センモンブ ダイヒョウ モロハシヒロアキ
口座名義：北海道札幌工業高等学校 高体連ボクシング専門部 代表 諸橋宏明
- (3) 参加取消に伴う納入金の取り扱い
ア 参加申込期限日までの取消については返金する。
イ 参加申込期限日後の取消については返金しない。
- 11 表彰 (1) 個人表彰：各階級優勝者、準優勝者及び3位の各選手に北海道高等学校体育連盟賞状を授与する。また、優勝者には、朝日新聞社よりメダルを授与する。
(2) 学校表彰：優勝、準優勝、3位の各学校を表彰する。
ア 得点規定
優勝には5点、準優勝者には3点、3位には1点を加算する。但し、抽選の不戦勝を除く。
イ 学校順位決定法
(ア) 個人得点の合計点数で決定する。
(イ) 同点の場合には、優勝の数による。
(ウ) (ア)、(イ)が同等の場合には、準優勝の数による。
(エ) (ア)、(イ)、(ウ)が同等の場合には、3位の数による。
(オ) (エ)で決定できない場合には、同位とする。
(カ) 全日制課程、定時制課程及び通信制課程は区別する。
(3) 前年度優勝校にレプリカを贈呈する。
(4) 学校表彰は、閉会式で行う。
(5) 各階級優勝者、準優勝者及び3位の表彰は、各競技終了後にリング上又は表彰ブースで行う。
- 12 全国大会選手派遣選考について 全国大会出場選手については、男子は各階級の優勝者を対象に、選手派遣検討委員会で最終決定する。女子は、LF級、B級、L級の3階級の優勝者を対象に、選手派遣検討委員会で最終決定する。
- 13 監督会議専門部会 令和7年6月3日（火）札幌市北区体育館 2F 多目的室 監督会議11:00～ 専門部会14:00～
組合せ抽選は、監督会議の際に行う。
- 14 厳守事項 大会参加選手は必ず引率責任者によって引率され、大会参加心得に合致した生活活動に心がけ、大会の目的達成に努力すること。また、引率責任者は選手の全ての行動に対して責任を負うものとする。

15 連絡事項
(その他)

- (1) セカンドは3名までとし、引率責任者（当該学校教員）は必ず選手に付き添うこと。3名のうち2名がリング上に上がることができるが、リング内に入れるのは1名だけである。
また、公認セカンド制度にともない参加申込書にセカンド氏名を記載すること。なお、セカンドが持ち込めるバックに関しては、32×20×20cmまでとする。
- (2) 次のものを各自で持参する。
 - ア 選手手帳
 - イ 健康申告書（男女共用）
 - ウ ヘッドガード（日連の検定品で、赤または青のコーナー色のヘッドガードを着用しなければならない。ターゲットエリアへの加工は刺繍、シール、書き込み等は一切禁止する。ヘッドガードから5cm以上の髪がはみ出してはならない。髪の長い選手はスイミングキャップを使用して髪が出ないようにしなければならない。）
 - エ カッププロテクター（ターゲットエリア・ベルトラインから上を覆ってはならない。女子の競技者の使用は任意である。）
 - オ 競技用ユニフォーム、トランクス、シューズ
 - カ マウスピース（脱着できない歯列矯正器を装着した選手は、歯列矯正器に適合するマウスピースを使用しなければならない。検診の際に歯科医の診断書を提示し、歯列矯正器に適合するマウスピースの装着状況をドクターが確認したのち、審判長または計量責任者が許可をする。）
- (3) バンテージについては、日連検定品を使用すること。
- (4) 毛髪等については、「日連医事ハンドブック 2025 CHAPTER X 10-2」を厳守すること。前頭部を覆う長髪は視野を制限し、眼球障害を引き起こしてしまう。長髪の場合は、ゴムでまとめ、ヘアネットかスイミングキャップをかぶって、まとめた後にヘッドギアを装着しなければならない。ヘアピン等のアクセサリーを使用してはならない。
- (5) ユニフォームについて
ユニフォームはコーナーカラーのものに限る。ベルトラインは白色、またはトランクス、ランニングシャツとはっきりと違う色で6cmから10cmの幅でなければならない。
- (6) 健診・計量について
スポーツエントリーズチェックにおいて、選手の所属の学校の引率者か代表者のいずれかが参加し、選手手帳・健康申告書（男女共用）・ユニフォーム（赤・青）を持参する。不携行の場合は出場できない。（選手は参加不要）
- (7) 競技中の疾病、傷害などの応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。
- (8) 引率責任者は、選手の行動に対して全ての責任を負うものとし、選手は高校生としての本分を忘れてはならない。
- (9) 選手・監督などは健康保険証、マイナンバーカード、マイナポータルに表示される被保険者資格情報のいずれかを持参すること。
- (10) 健診・計量は次のとおり行う。各日、出場選手のみ実施する。
 - ア 公式計量は腹部を覆わない水着か下着を着用して計量するが、必要であれば全裸で計量することもできる。競技者の公式計量は1度だけである。
 - イ 予備計量器は、各学校で準備すること。
- (11) 視力は、裸眼視力0.1以上、矯正視力0.4以上の者の出場を認める。競技者がソフトコンタクトレンズを装着して競技する場合、選手手帳・健康申告書にその旨を記載し、スポーツエントリーズチェックで医師に申し出なければならない。
- (12) 肖像権に関する取扱い
競技者及び指導者は、本大会の参加申込書の提出により、公益財団法人全国高等学校体育連盟が定めた肖像権の取扱規程を承諾したものとする。
- (13) その他
大会実施に関する規則等の変更は「別途連絡事項」で確認すること。

【問い合わせ先】

北海道高等学校体育連盟ボクシング専門部
委員長 菅原 丈靖(すがわら たけやす)
E-mail sugawara24@hokkido-c.ed.jp

〒060-0820 札幌市北区北20条西13丁目
北海道札幌工業高等学校内
TEL 011-727-3342 FAX 011-727-3344
携帯 090-3117-2490